

# 福生市障害者生活実態調査

## 報告書

## 概要版

### 1 調査の目的

令和5年度に予定している「福生市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」を策定するにあたり、基礎資料として活用するため、実態調査を実施しました。

### 2. 調査方法

調査地域 : 福生市全域  
 調査基準日 : 令和4年10月1日  
 調査期間 : 令和4年12月1日(木)～令和4年12月20日(火)  
 調査対象者 :

対象者（在宅で生活し次に該当する市民の方）		対象者数
障害者	身体障害者手帳所持者	1,439
	愛の手帳所持者	304
	精神障害者保健福祉手帳所持者	572
	特殊疾病患者福祉手当受給者	429
障害児	身体障害者手帳所持者	28
	愛の手帳所持者	112
	精神障害者保健福祉手帳所持者	15
	特殊疾病患者福祉手当受給者	1

調査方法 : 郵送配付・郵送回収方式

### 3. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
障害者	2,499 通	1,311 通	52.5%
障害児	137 通	64 通	46.7%

※配布数は重複して手帳等を所持されている方もいるので、上記対象者数と一致いたしません。



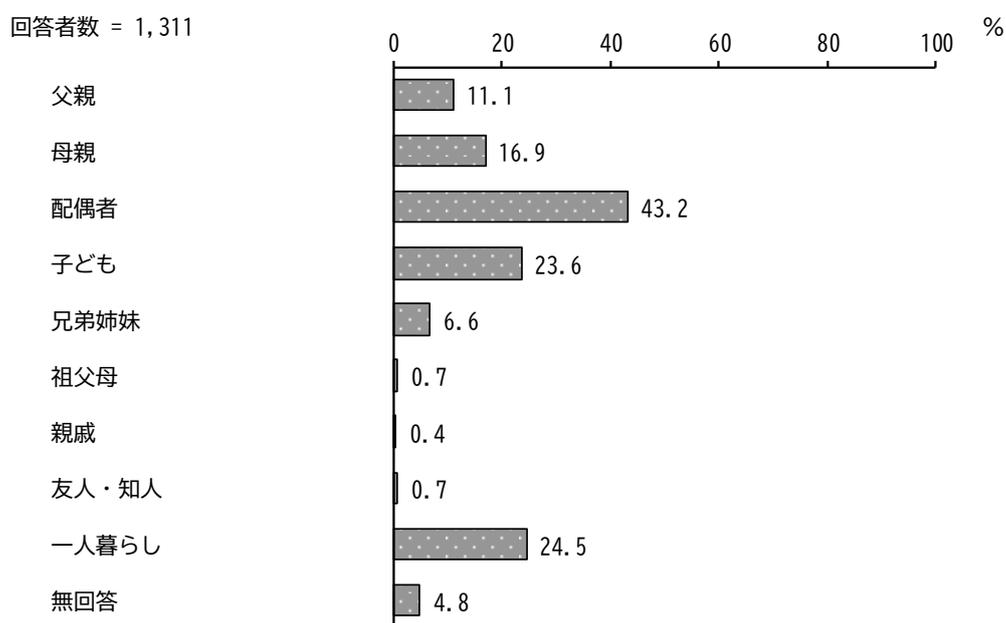
# 障害者生活実態調査の結果

## 1 障害者

### ● 回答者属性

問 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

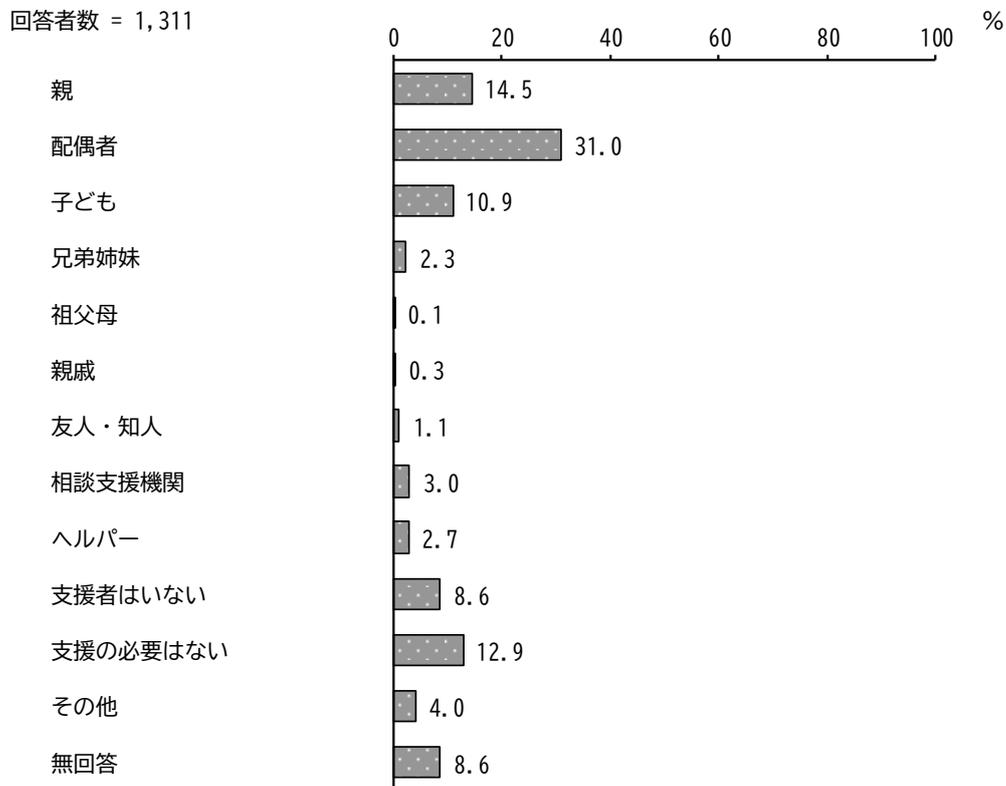
「配偶者」の割合が43.2%と最も高く、次いで「一人暮らし」の割合が24.5%、「子ども」の割合が23.6%となっています。



## ●日常生活について

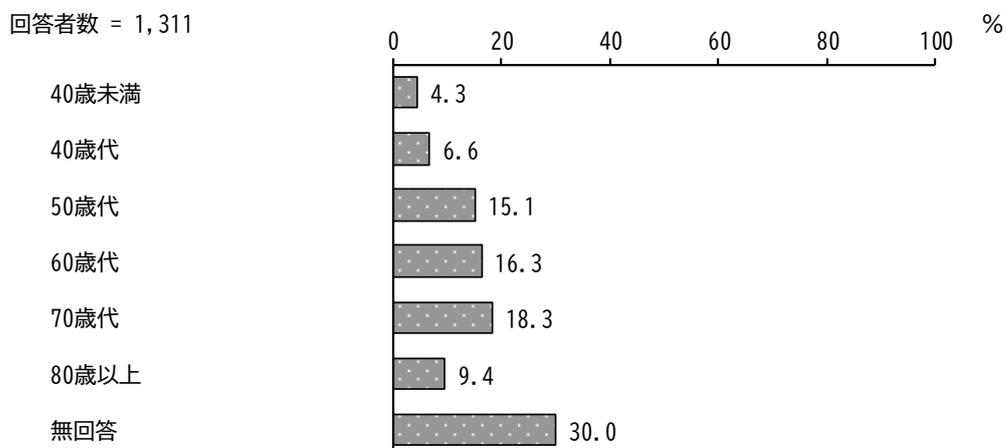
### 問 主な支援者は誰ですか。[1つに〇]

「配偶者」の割合が31.0%と最も高く、次いで「親」の割合が14.5%、「支援の必要はない」の割合が12.9%となっています。



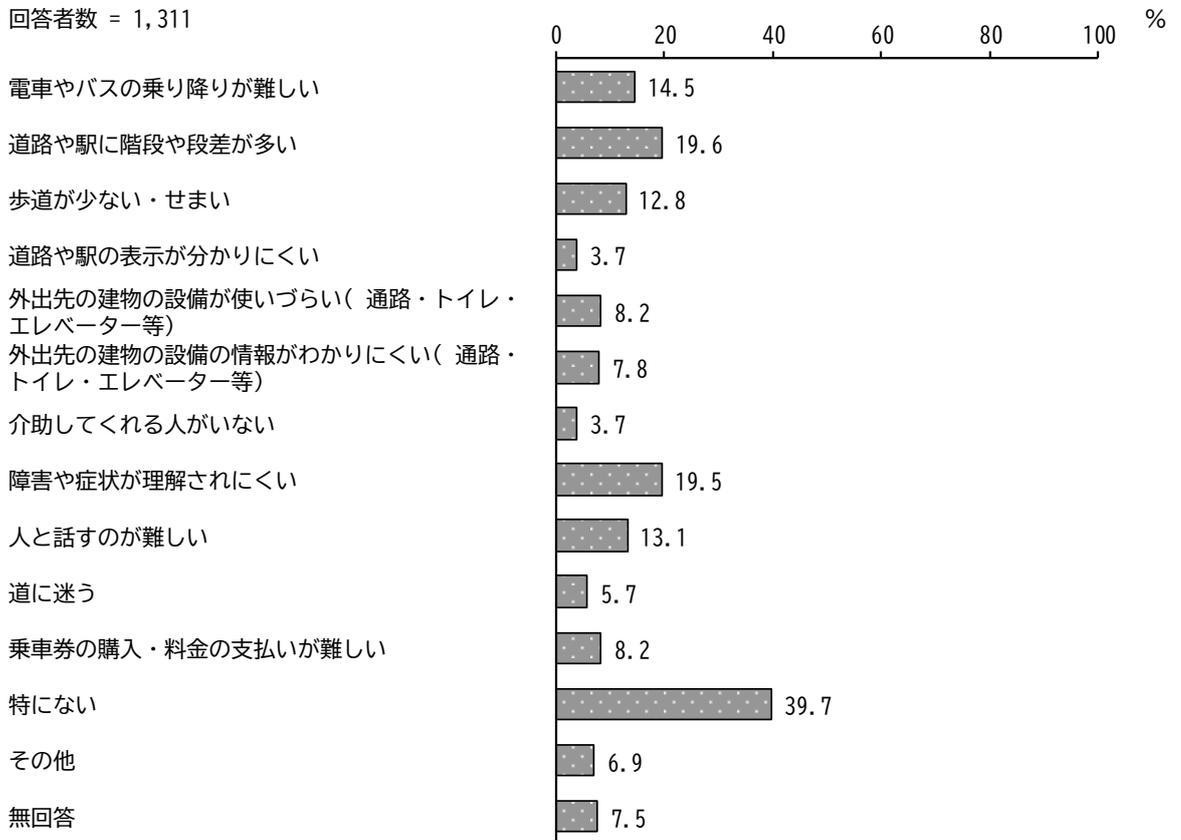
### 問 支援者がいる場合、主な支援者の年齢はどれですか。[1つに〇]

「70歳代」の割合が18.3%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が16.3%、「50歳代」の割合が15.1%となっています。



問 外出のときに、困ることはありますか(特に市内で) 。[いくつでも○]

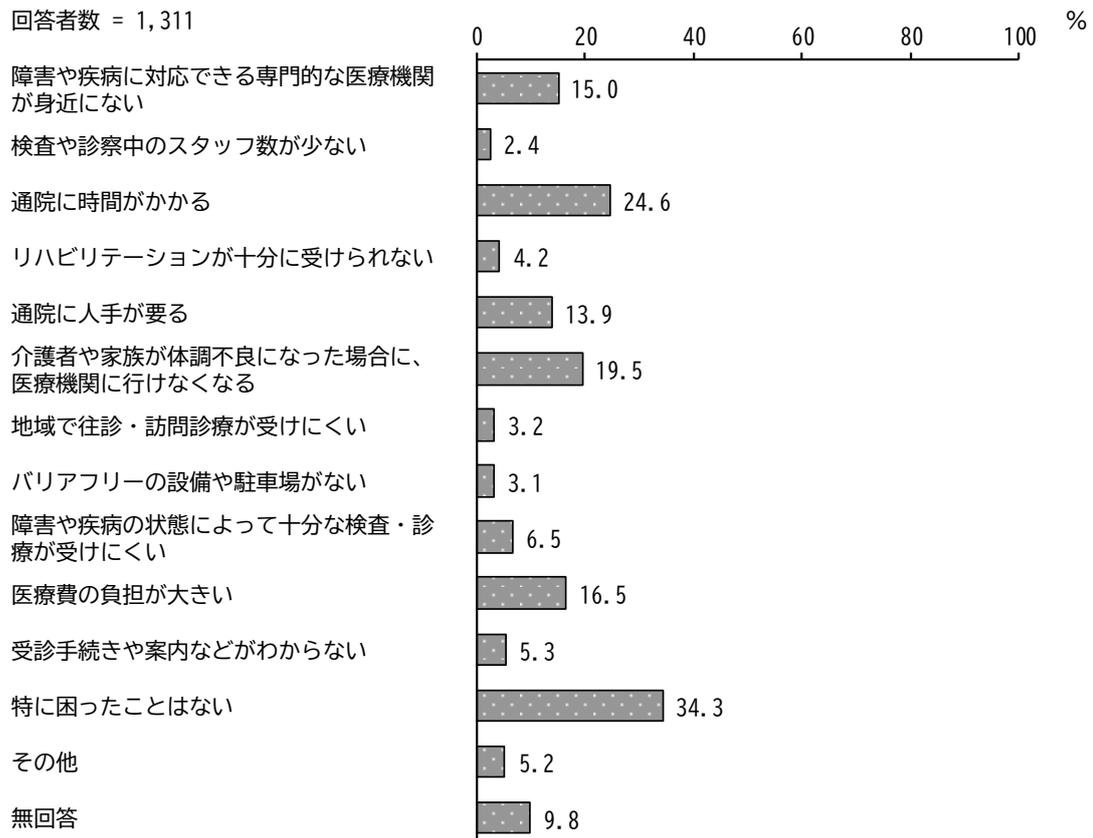
「特にない」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が 19.6%、「障害や症状が理解されにくい」の割合が 19.5%となっています。



## ● 健康・医療について

問 あなたは、健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。[いくつかでも○]

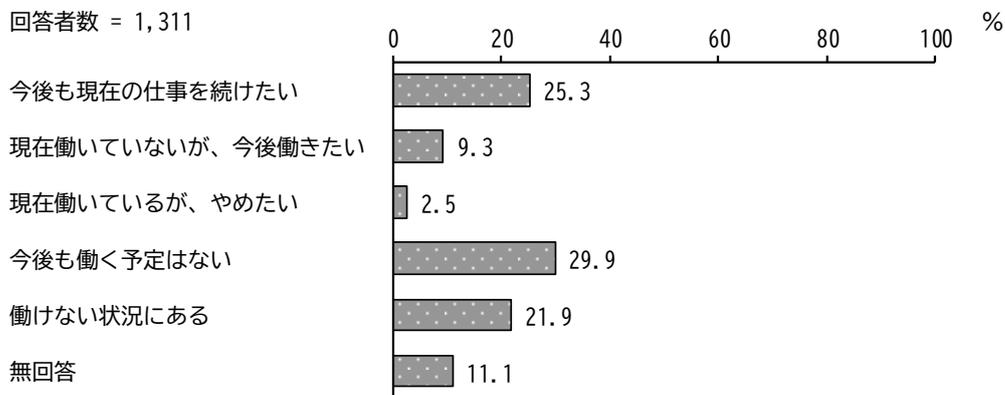
「特に困ったことはない」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「通院に時間がかかる」の割合が 24.6%、「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる」の割合が 19.5%となっています。



## ● 就労について

問 現在の就労状況について教えてください。[1つに〇]

「今後も働く予定はない」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「今後も現在の仕事を続けたい」の割合が 25.3%、「働けない状況にある」の割合が 21.9%となっています。

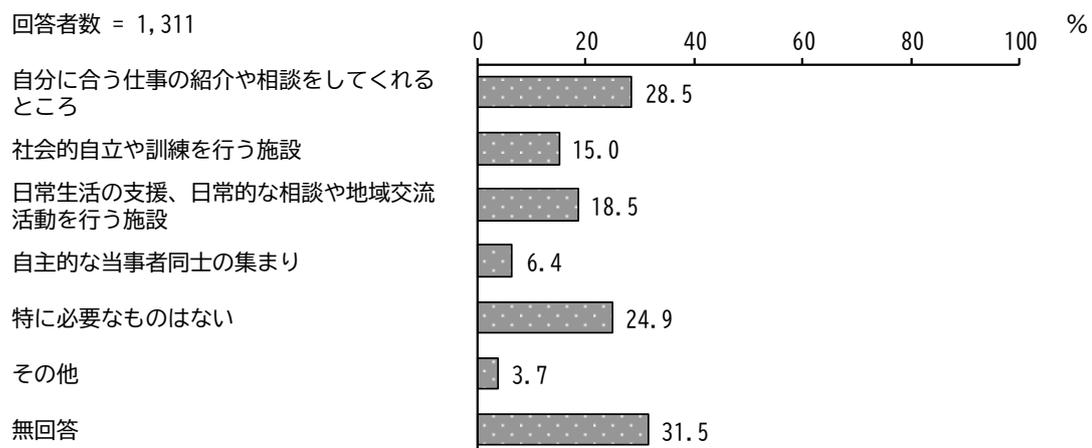


### 【障害種別】

障害種別にみると、他に比べ、身体障害者で「今後も働く予定はない」、知的障害者で「今後も現在の仕事を続けたい」、精神障害者で「働けない状況にある」の割合が高くなっています。また、身体障害者で「今後も現在の仕事を続けたい」、知的障害者、精神障害者で「今後も働く予定はない」の割合が低くなっています。

問 働く場や活動の場を充実させるため、必要と思うものは何ですか。[3つ以内に〇]

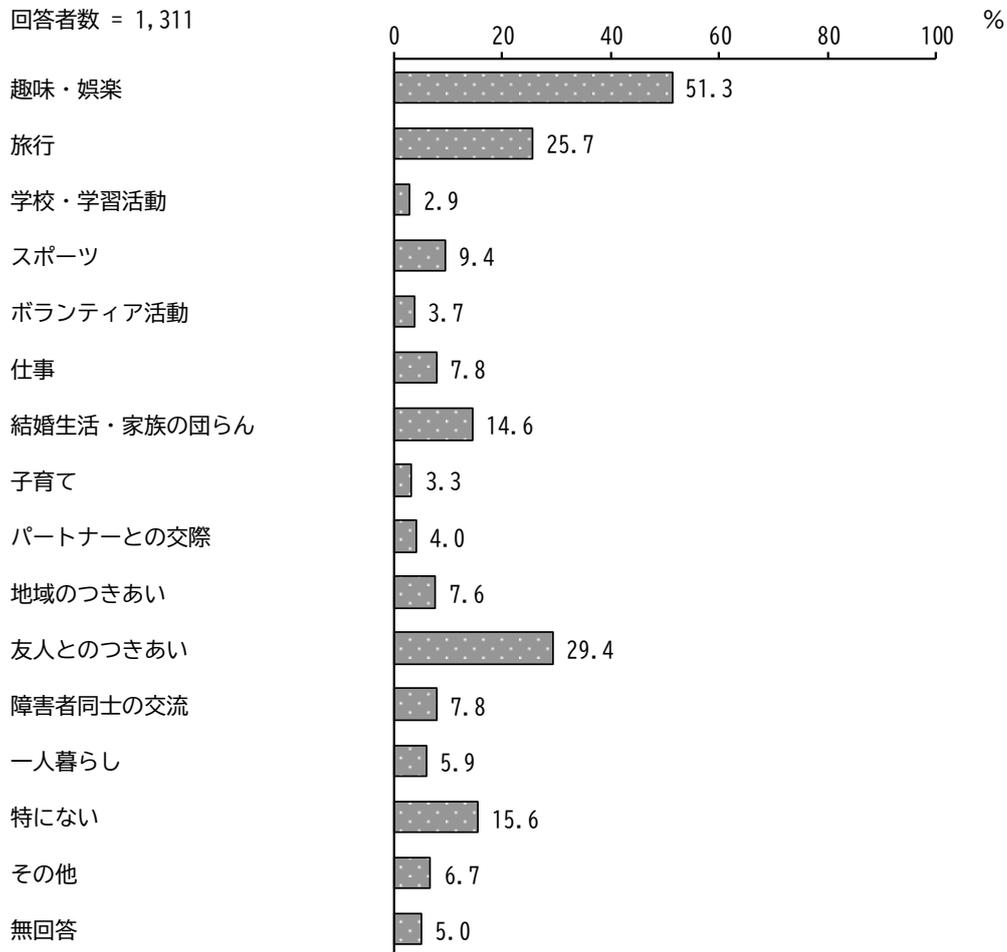
「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」の割合が 28.5%と最も多く、次いで「特に必要なものはない」の割合が 24.9%、「日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設」の割合が 18.5%となっています。



## ● 日頃の活動について

問 楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]

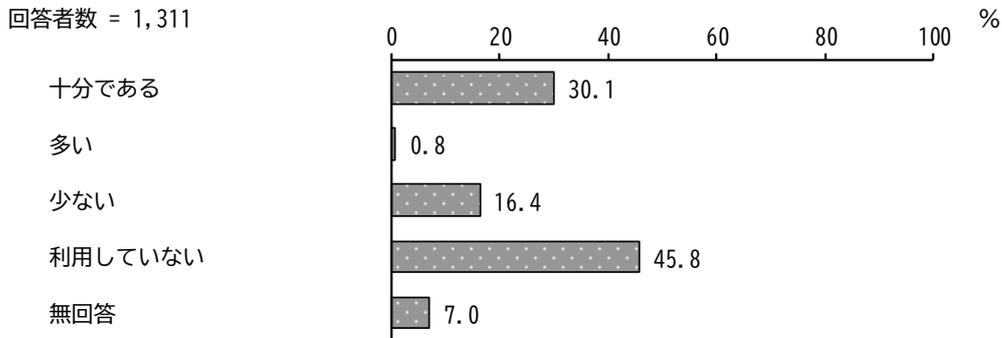
「趣味・娯楽」の割合が 51.3%と最も多く、次いで「友人とのつきあい」の割合が 29.4%、「旅行」の割合が 25.7%となっています。



## ● 福祉サービスについて

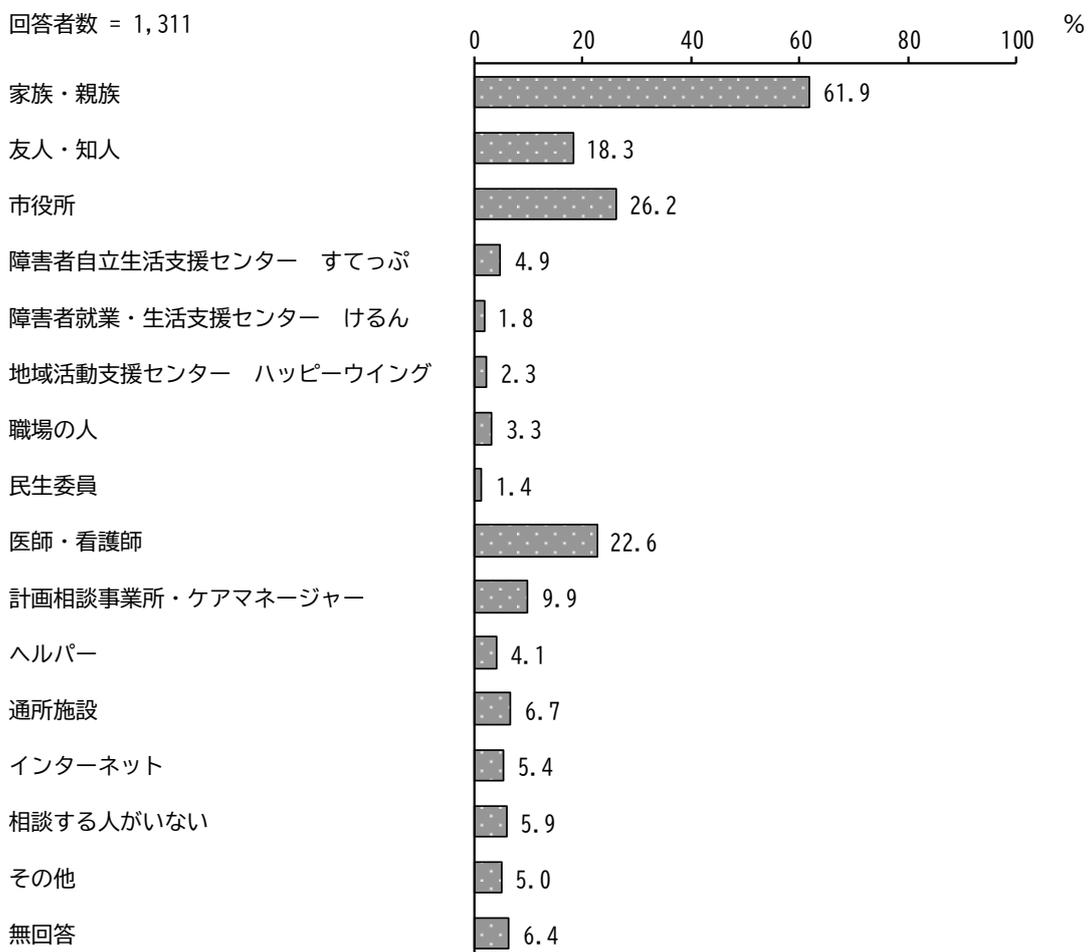
問 現在、利用しているサービス量は十分だと思いますか。[1つに○]

「利用していない」の割合が45.8%と最も多く、次いで「十分である」の割合が30.1%、「少ない」の割合が16.4%となっています。



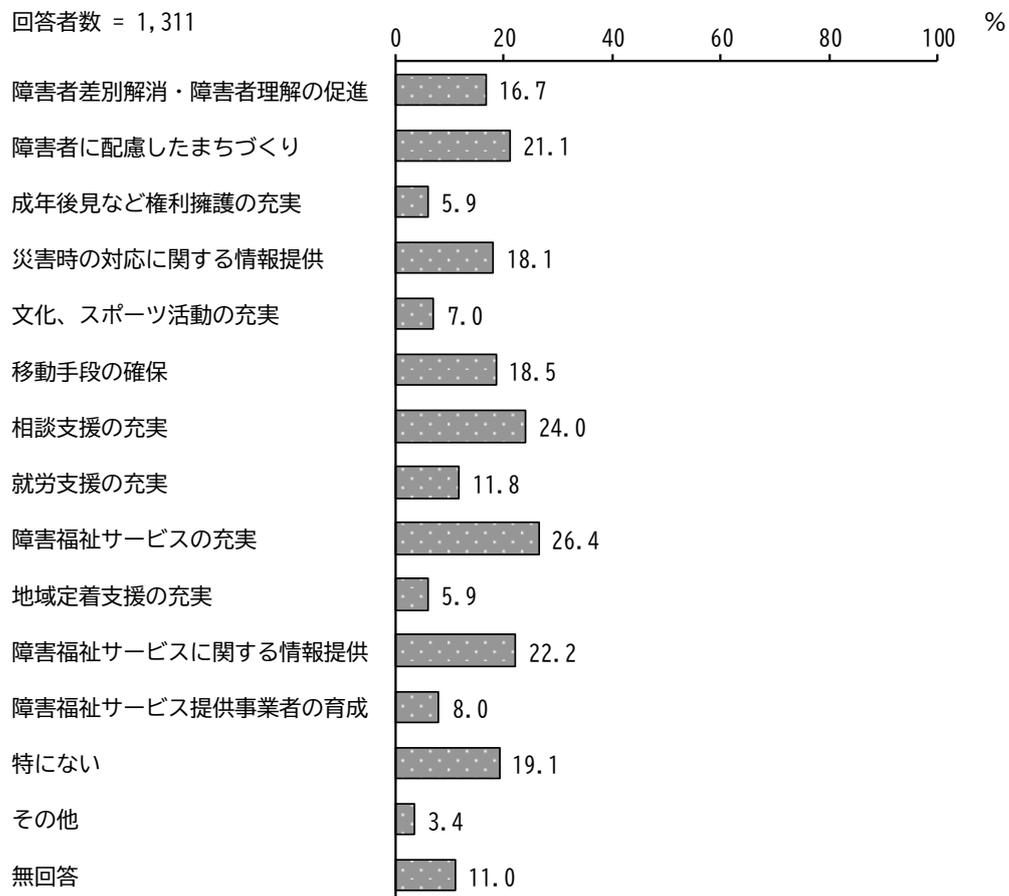
問 あなたや支援者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのはだれ（どこ）ですか。[いくつでも○]

「家族・親族」の割合が61.9%と最も多く、次いで「市役所」の割合が26.2%、「医師・看護師」の割合が22.6%となっています。



● 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]

「障害福祉サービスの充実」の割合が 26.4%と最も多く、次いで「相談支援の充実」の割合が 24.0%、「障害福祉サービスに関する情報提供」の割合が 22.2%となっています。

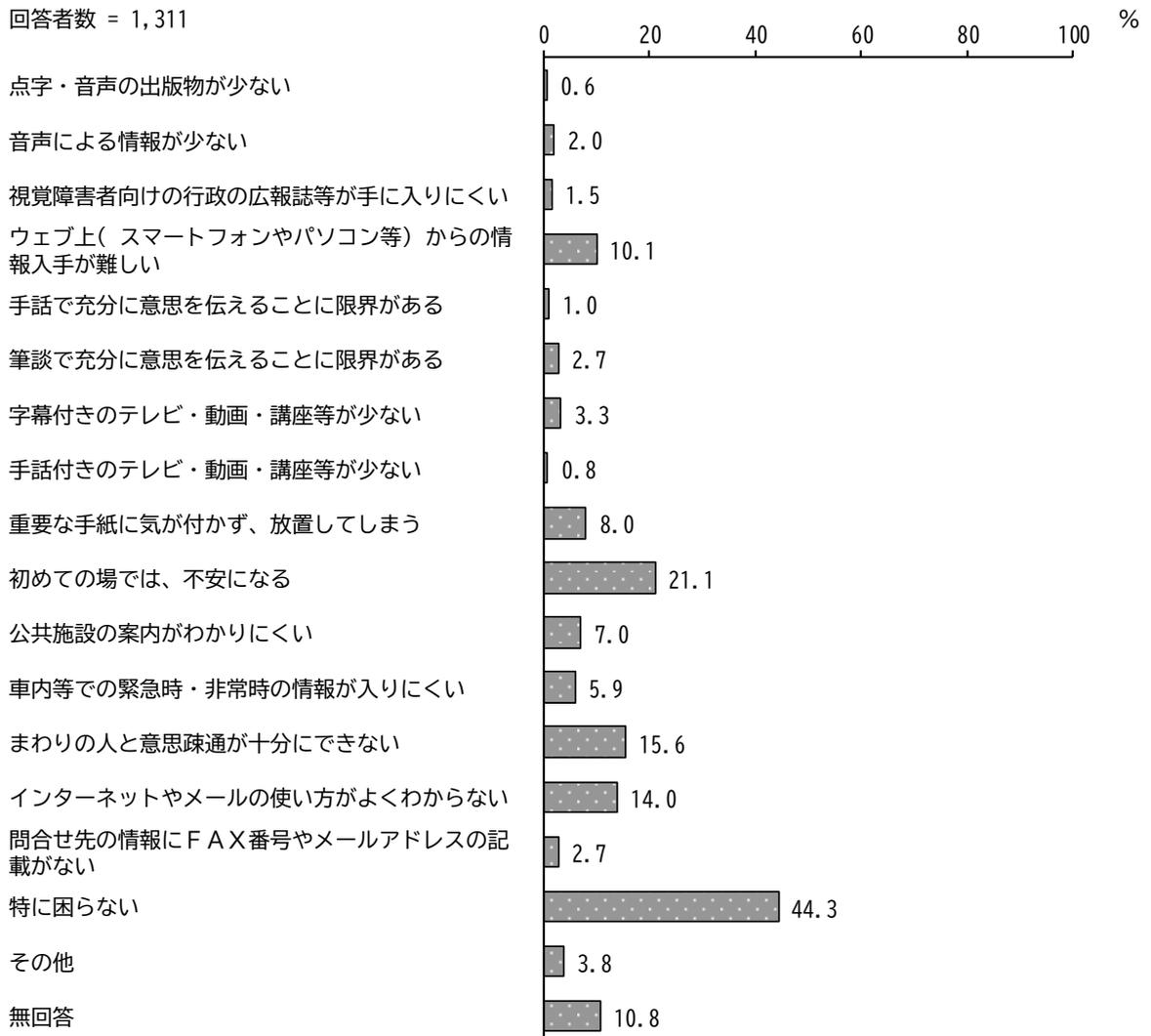


## ● 情報の入手やコミュニケーションについて

問 あなたが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ったり不便に思うことはありますか。[いくつでも○]

「特に困らない」の割合が 44.3%と最も多く、次いで「初めての場では、不安になる」の割合が 21.1%、「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が 15.6%となっています。

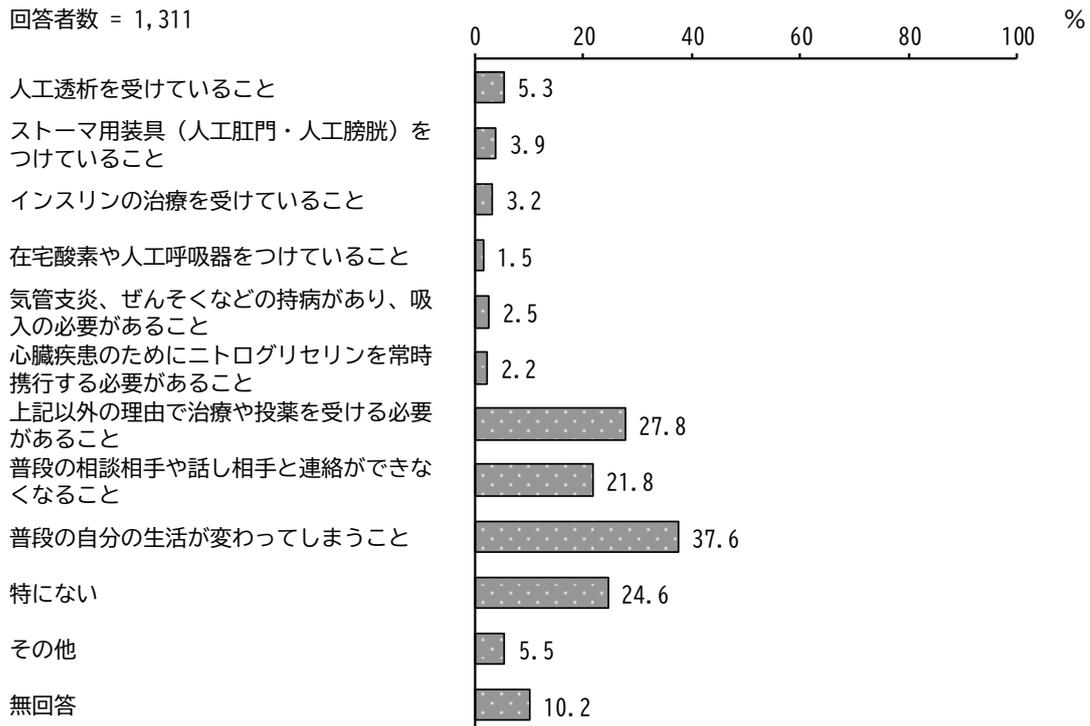
回答者数 = 1,311



## ● 災害時の対応について

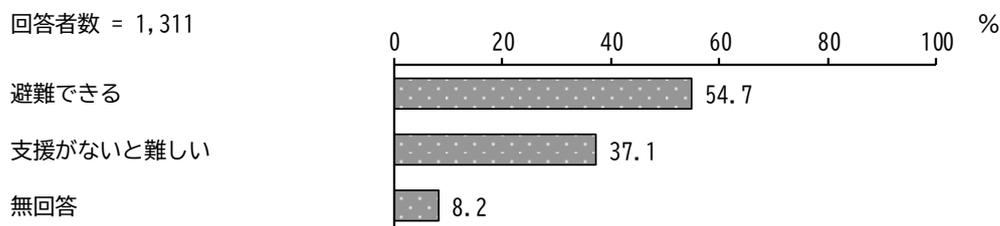
問 災害発生時、数日間医療機関や福祉サービス等を利用できないことが想定されますが、心身の健康面や生活面で困ることについて、どのようなことがありますか。[いくつでも○]

「普段の自分の生活が変わってしまうこと」の割合が 37.6%と最も多く、次いで「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること」の割合が 27.8%、「特にない」の割合が 24.6%となっています。



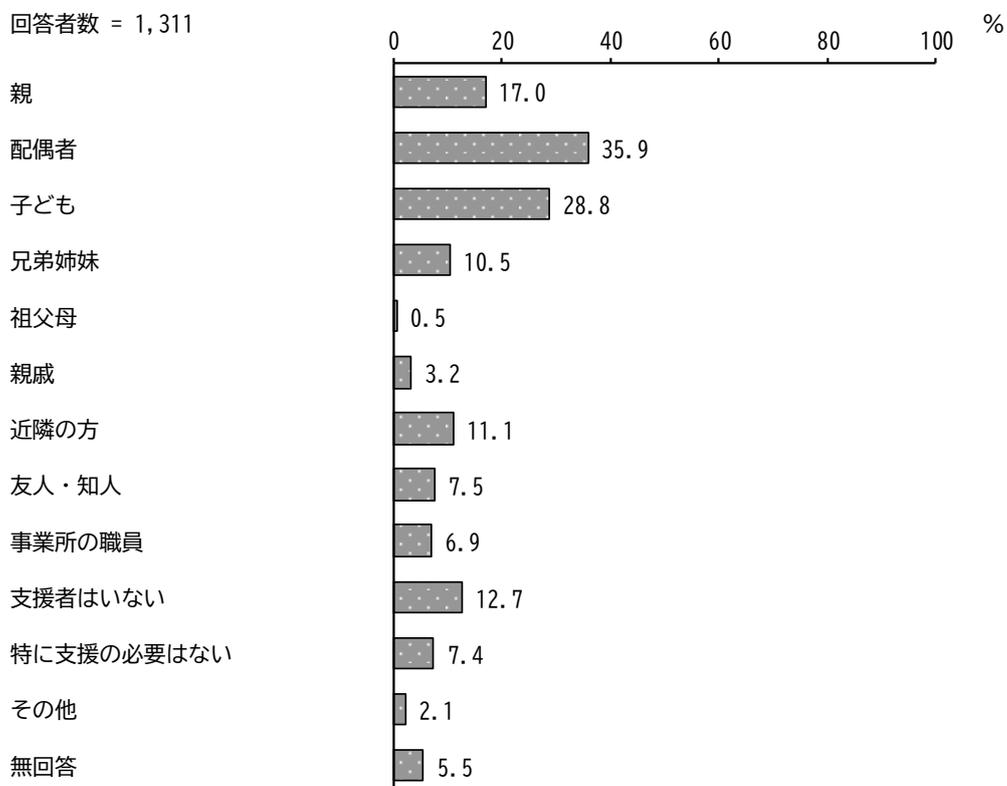
問 災害発生時に自力で避難することができますか。[1つに○]

「避難できる」の割合が 54.7%、「支援がないと難しい」の割合が 37.1%となっています。



問 災害発生に伴う避難時に、支援してくれる人は誰ですか。[いくつでも○]

「配偶者」の割合が 35.9%と最も多く、次いで「子ども」の割合が 28.8%、「親」の割合が 17.0%となっています。

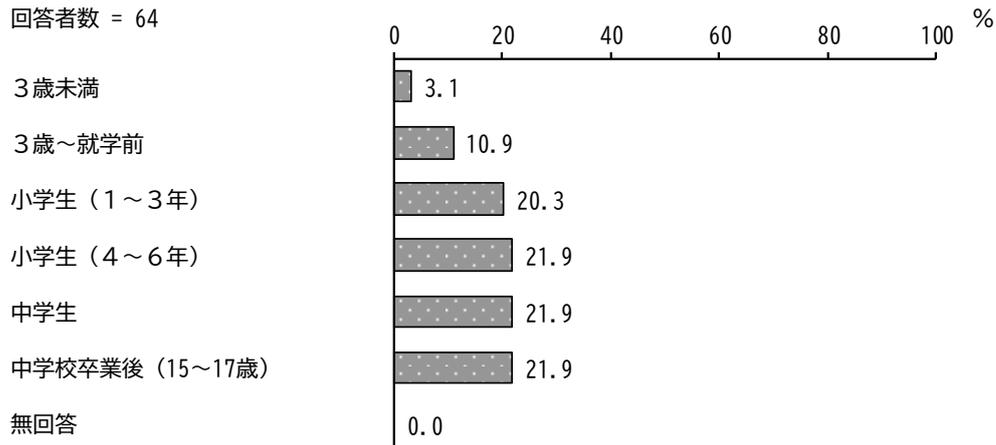


## 2 障害児

### ● 回答者属性

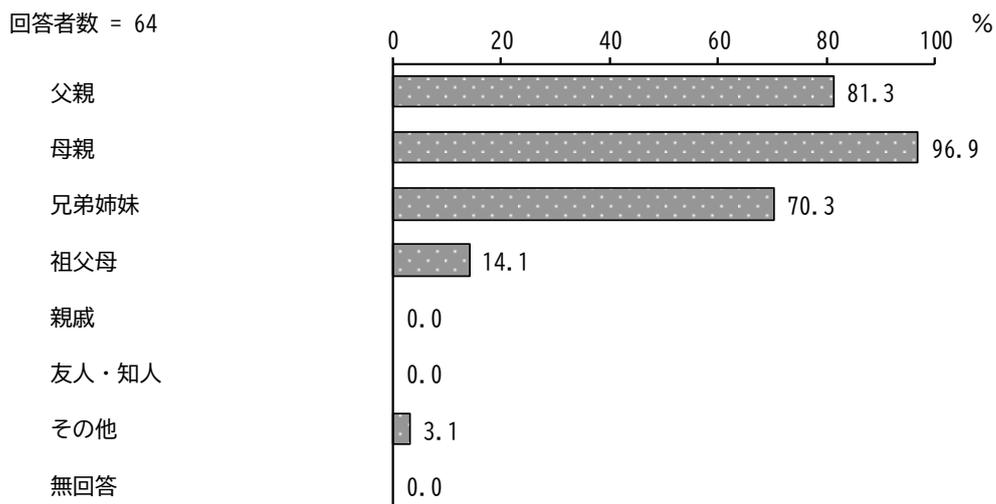
問 お子さんの年齢区分は次のうちどれですか。[1つに○]

「小学生（4～6年）」、「中学生」、「中学校卒業後（15～17歳）」の割合が21.9%と最も多くなっています。



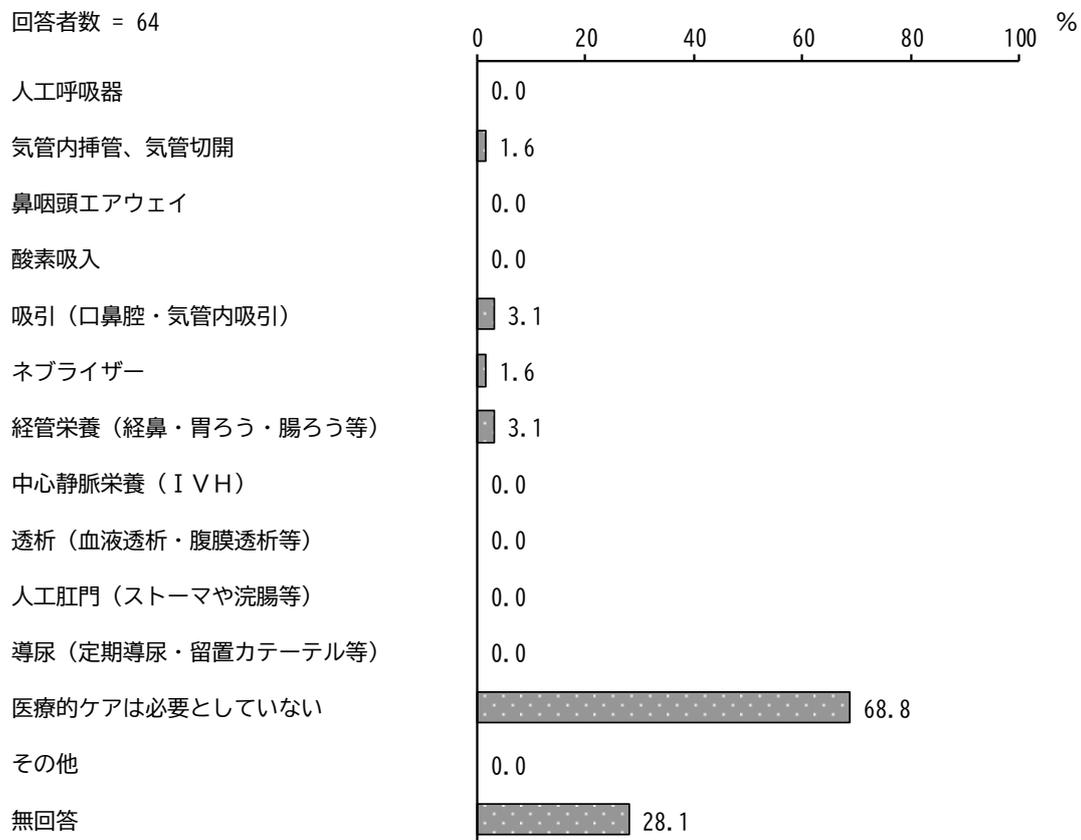
問 お子さんと一緒に暮らしている方は、どなたですか[いくつでも○]

「母親」の割合が96.9%と最も多く、次いで「父親」の割合が81.3%、「兄弟姉妹」の割合が70.3%となっています。



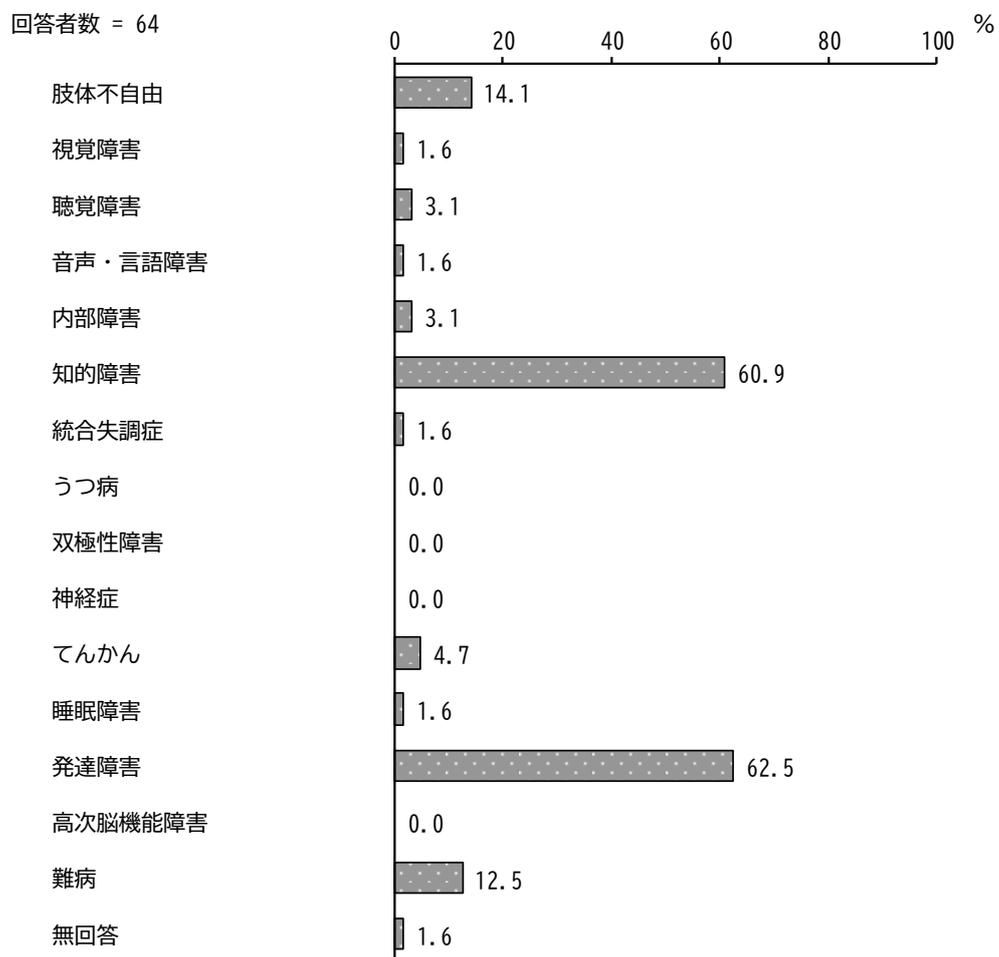
問 お子さんは、次のような医療的ケアを必要としていますか。[いくつでも○]

「医療的ケアは必要としていない」の割合が68.8%と最も多くなっています。



問 お子さんの障害の種類又は病名についておたずねします。[いくつでも○]

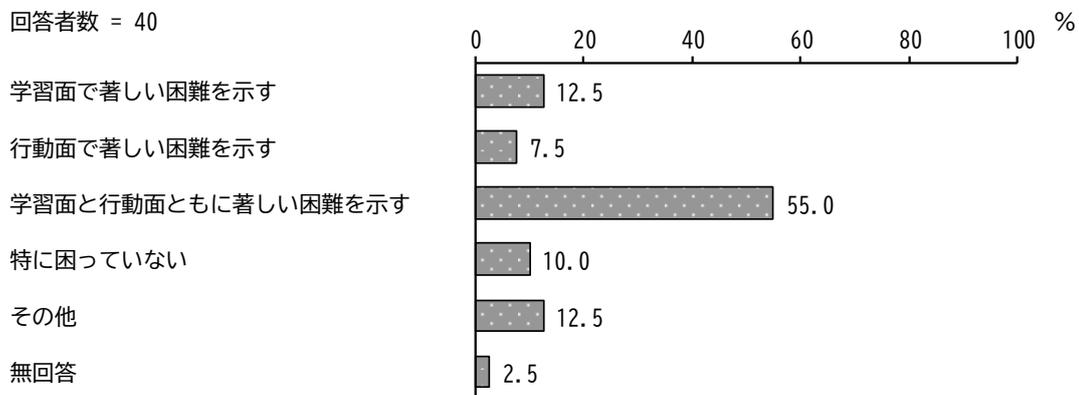
「発達障害」の割合が 62.5%と最も多く、次いで「知的障害」の割合が 60.9%、「肢体不自由」の割合が 14.1%となっています。



## ● 発達障害について

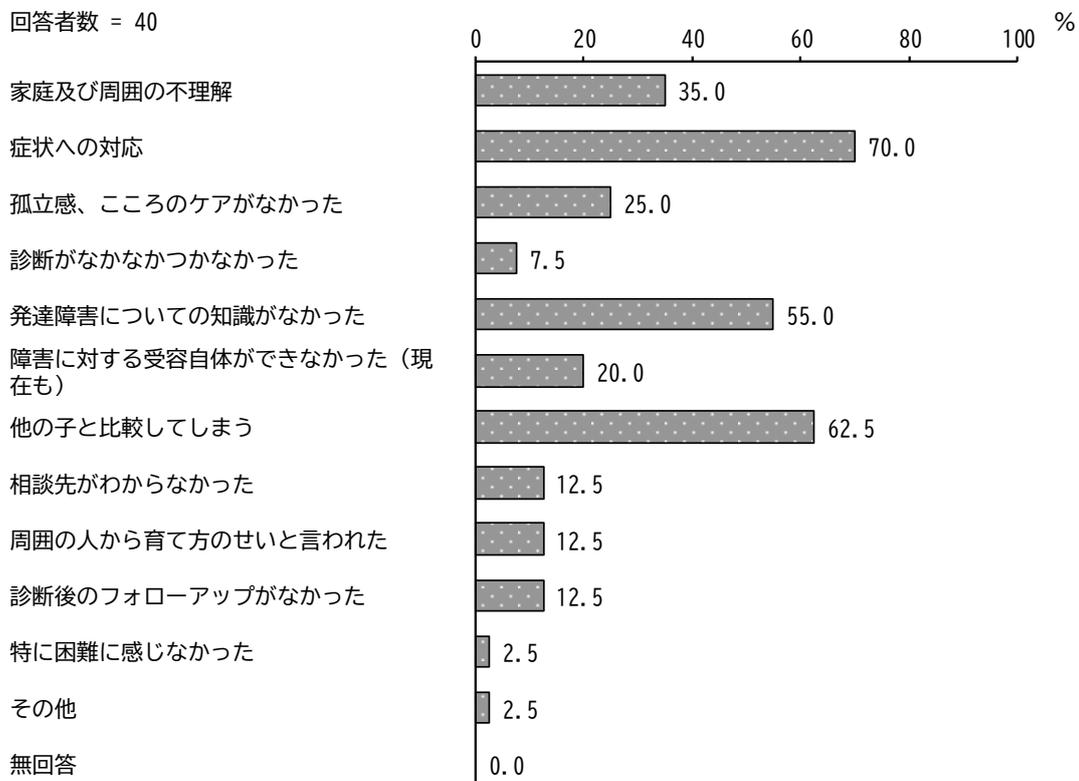
問 お子さんが発達障害でお困りのことはありますか。[1つに〇]

「学習面と行動面ともに著しい困難を示す」の割合が 55.0%と最も多く、次いで「学習面で著しい困難を示す」の割合が 12.5%、「特に困っていない」の割合が 10.0%となっています。



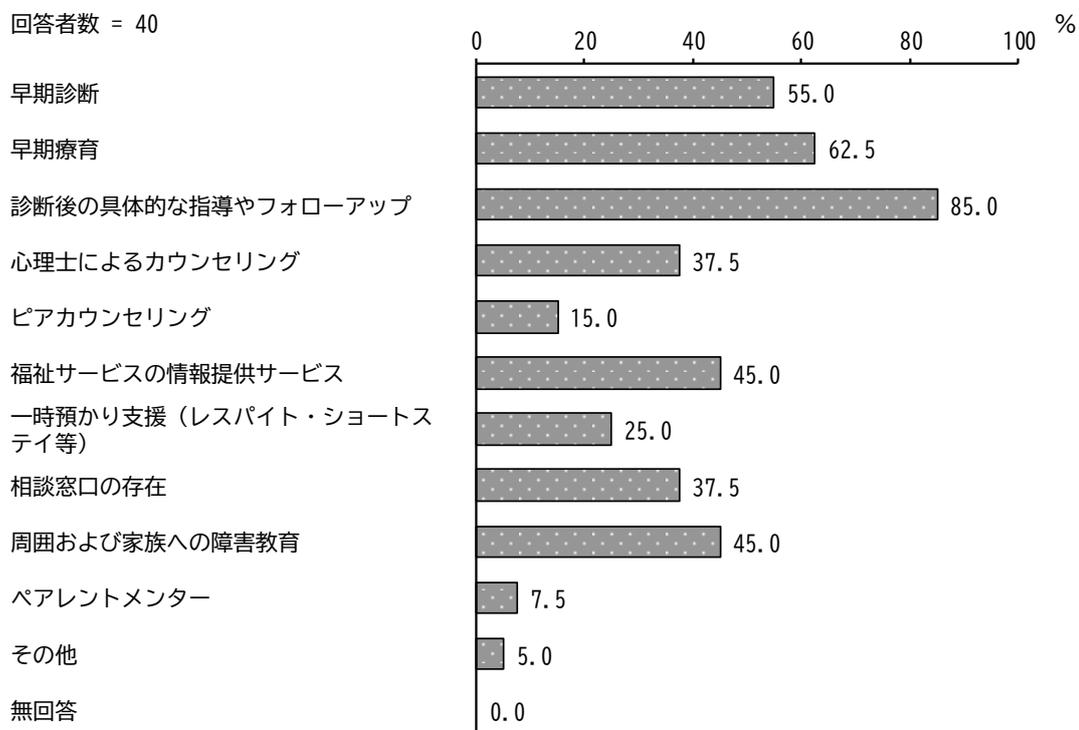
問 子どもの障害に気づいてから診断を受けて、障害を受け入れる過程で、どのようなことが困難に感じましたか。[いくつでも〇]

「症状への対応」の割合が 70.0%と最も多く、次いで「他の子と比較してしまう」の割合が 62.5%、「発達障害についての知識がなかった」の割合が 55.0%となっています。



問 お子さんの発達障害を受け入れるまでに、どのような支援が必要だと思いますか。

「診断後の具体的な指導やフォローアップ」の割合が 85.0%と最も多く、次いで「早期療育」の割合が 62.5%、「早期診断」の割合が 55.0%となっています。

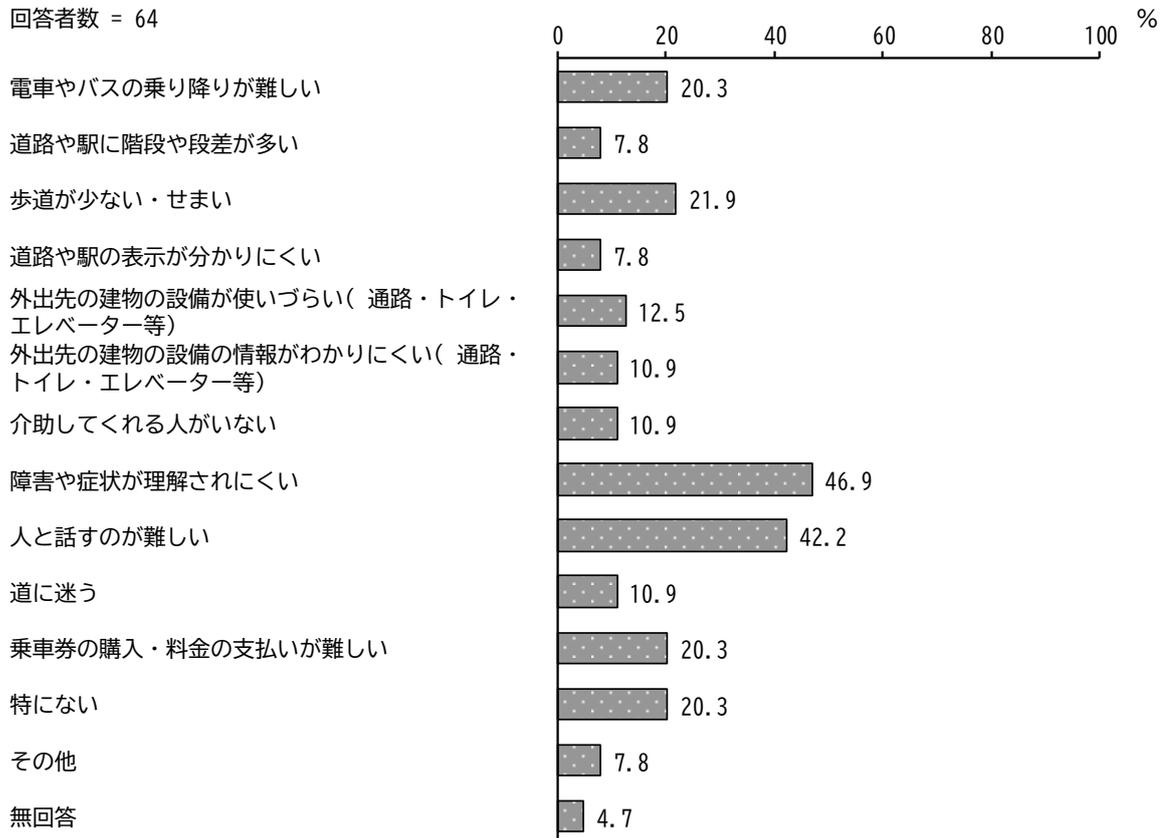


## ● 日常生活について

問 お子さんが外出のときに、お子さんが（あなたが）困ることはありますか。（特に市内で）[いくつでも○]

「障害や症状が理解されにくい」の割合が 46.9%と最も多く、次いで「人と話すのが難しい」の割合が 42.2%、「歩道が少ない・せまい」の割合が 21.9%となっています。

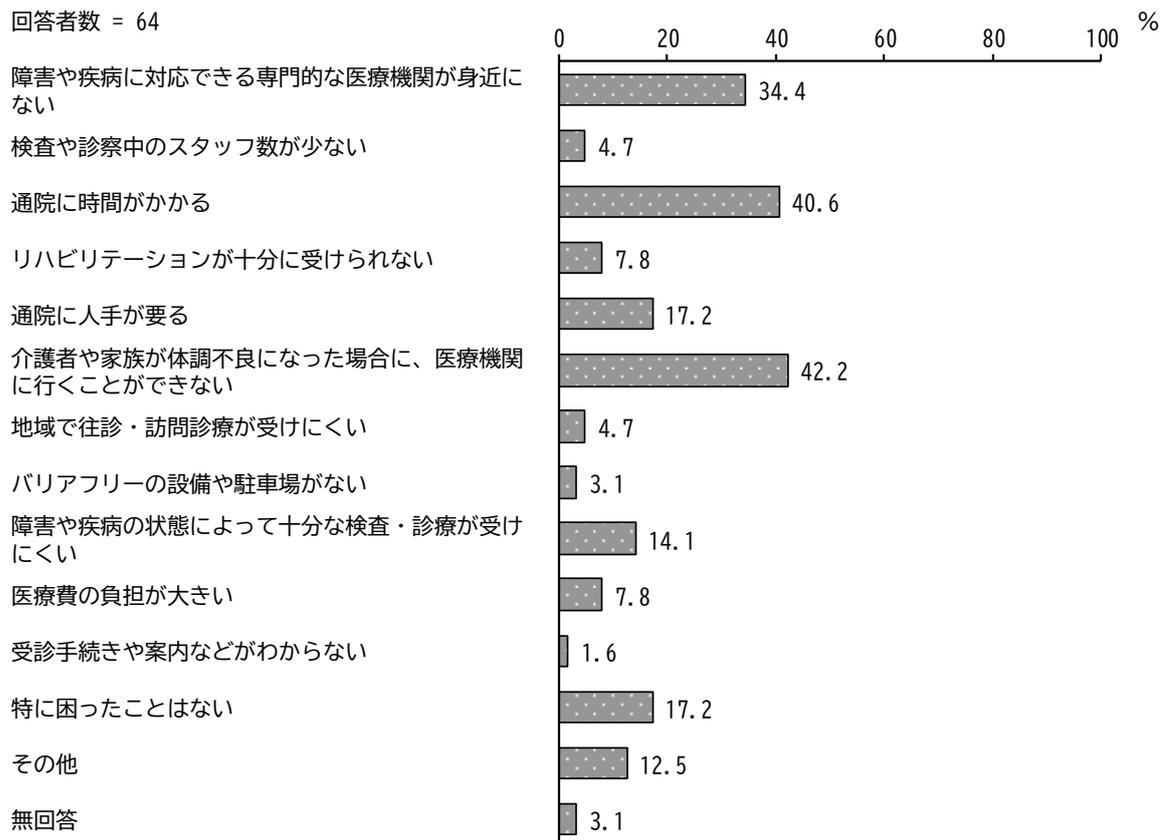
回答者数 = 64



## ● 健康・医療について

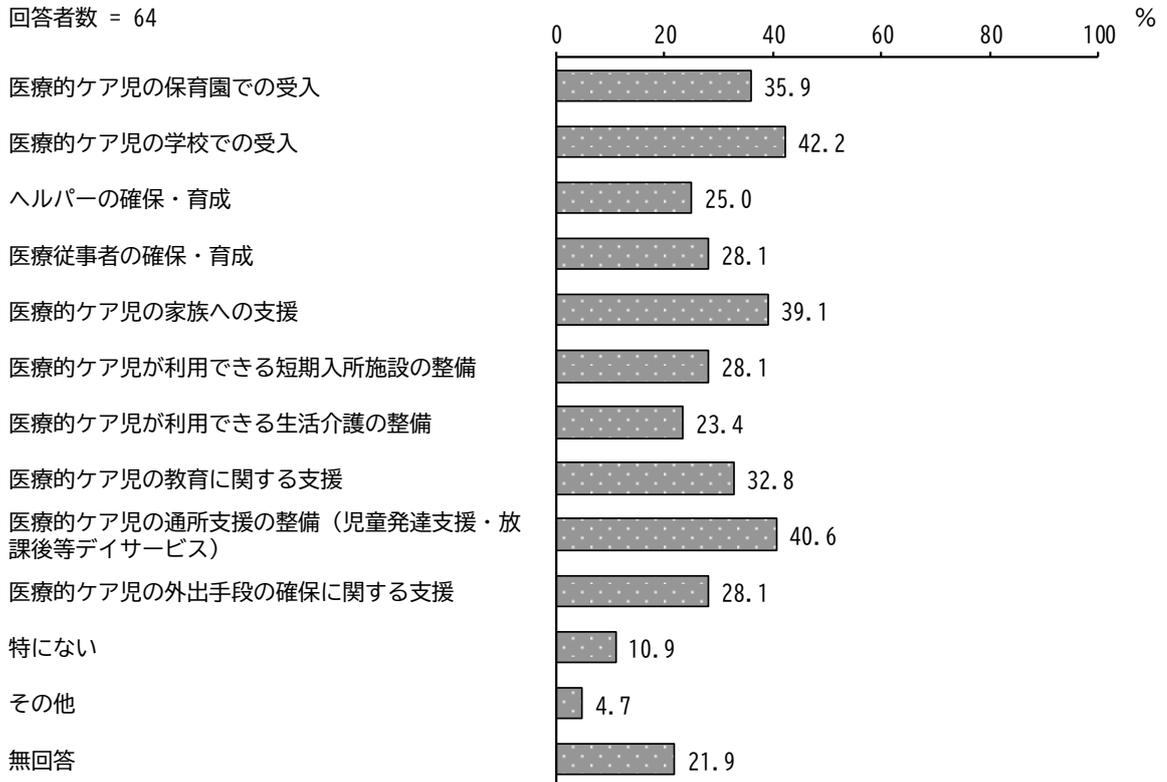
問 お子さんの健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。[いくつかでも○]

「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行くことができない」の割合が42.2%と最も多く、次いで「通院に時間がかかる」の割合が40.6%、「障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない」の割合が34.4%となっています。



問 医療的ケアが必要な児童に関して、どのような支援の充実が必要だと思えますか。  
[いくつでも○]

「医療的ケア児の学校での受入」の割合が 42.2%と最も多く、次いで「医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）」の割合が 40.6%、「医療的ケア児の家族への支援」の割合が 39.1%となっています。

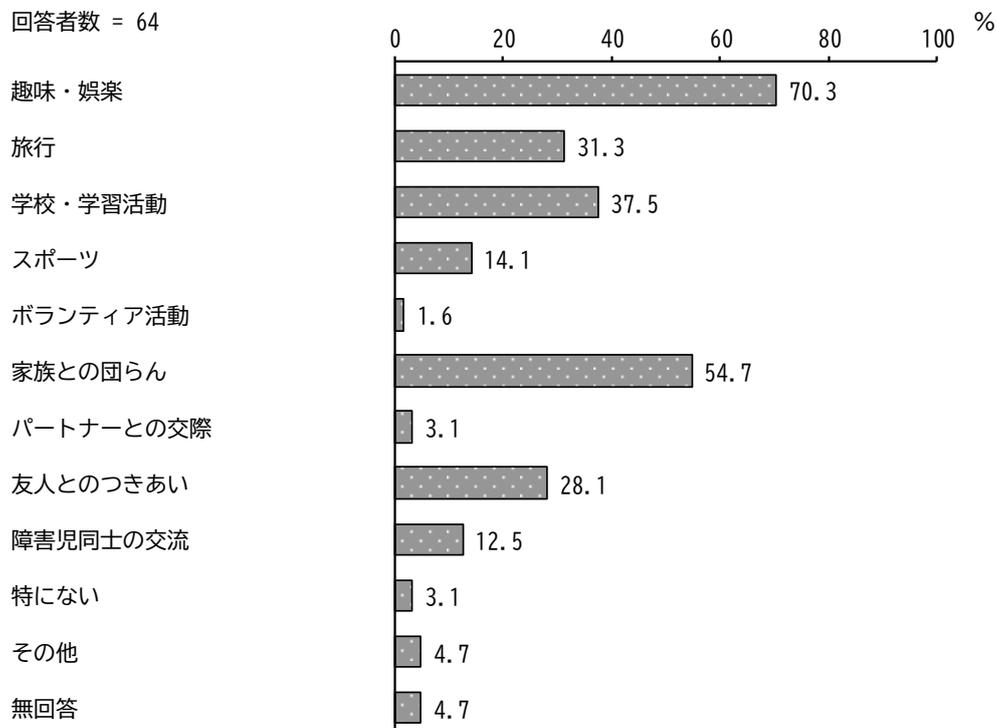


## ● 日頃の活動について

問 お子さんの楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]

「趣味・娯楽」の割合が70.3%と最も多く、次いで「家族との団らん」の割合が54.7%、「学校・学習活動」の割合が37.5%となっています。

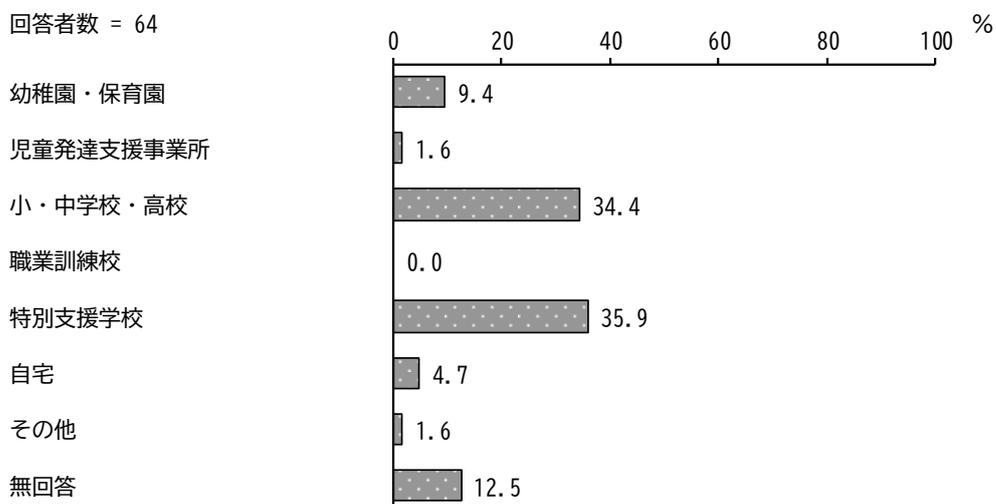
回答者数 = 64



問 お子さんは日中は主にどこで過ごしていますか。[1つに○]

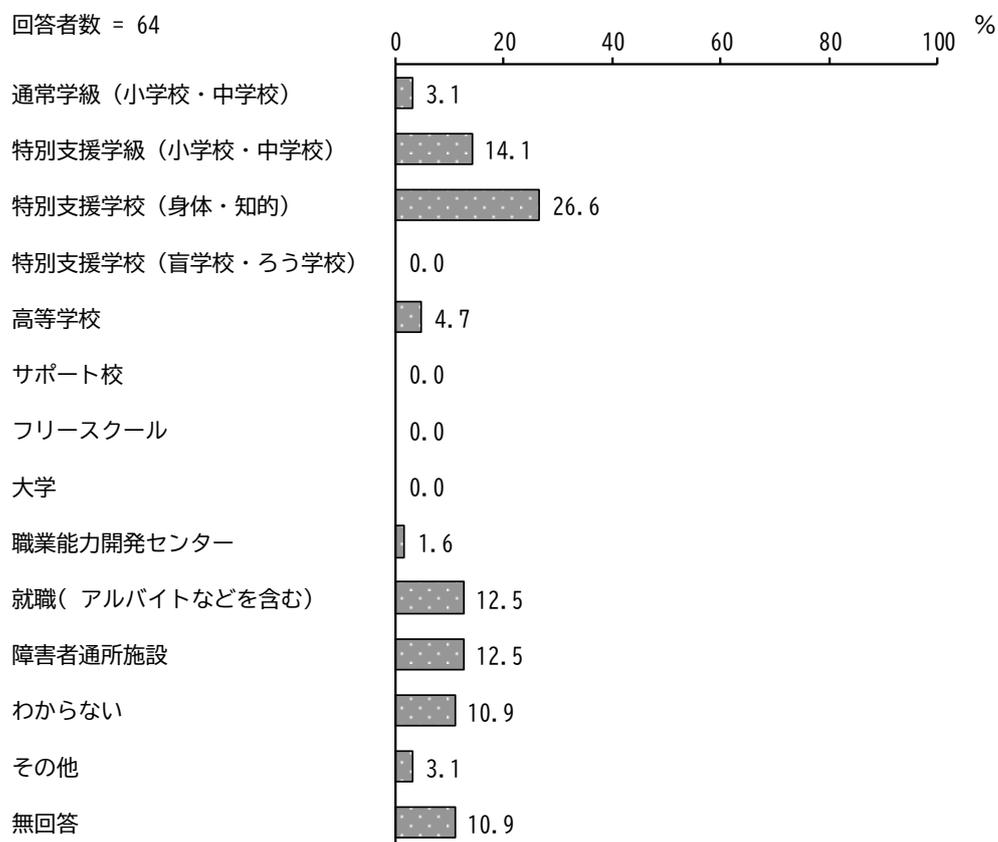
「特別支援学校」の割合が35.9%と最も多く、次いで「小・中学校・高校」の割合が34.4%となっています。

回答者数 = 64



問 現在の通園・通学先を卒業した後、どのような進路を希望しますか。[1つに○]

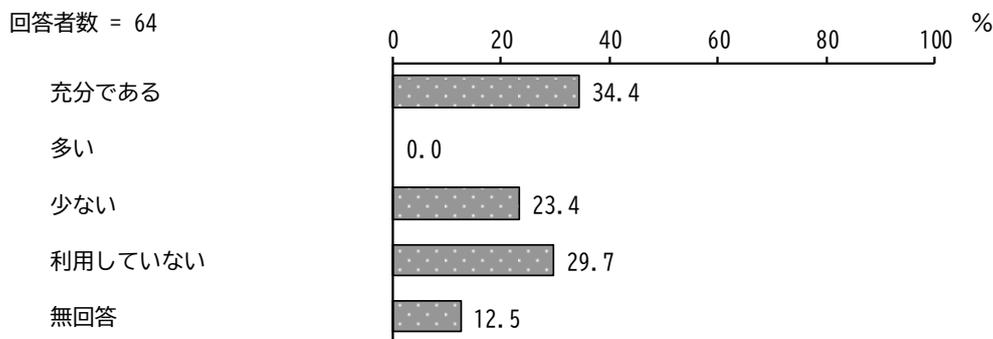
「特別支援学校（身体・知的）」の割合が 26.6%と最も多く、次いで「特別支援学級（小学校・中学校）」の割合が 14.1%、「就職(アルバイトなどを含む)」、「障害者通所施設」の割合が 12.5%となっています。



## ● 福祉サービスについて

問 現在、利用しているサービス量は充分だと思いますか。[1つに〇]

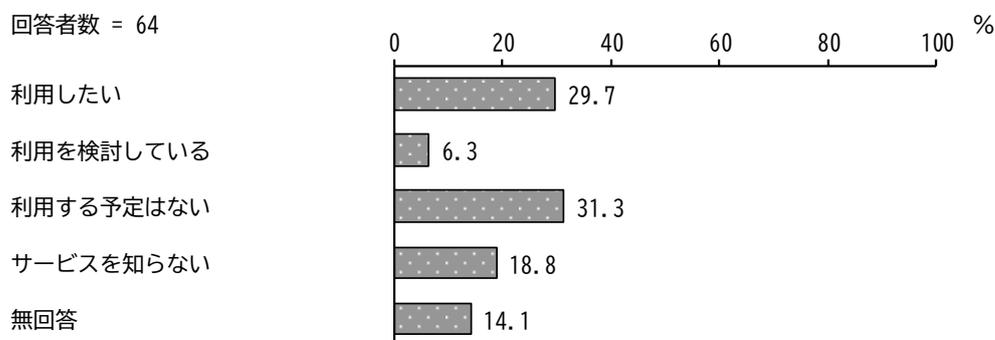
「充分である」の割合が34.4%と最も多く、次いで「利用していない」の割合が29.7%、「少ない」の割合が23.4%となっています。



問 次のサービスを、今後（新たに、または引き続き）利用したいと思いますか。[それぞれ1つに〇]

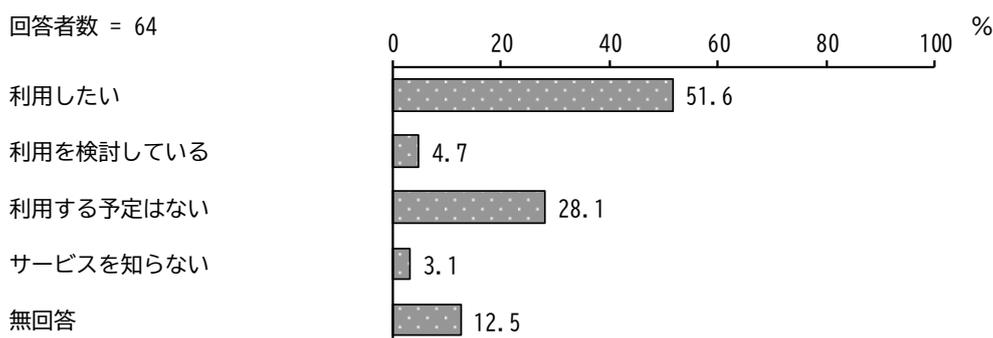
### ① 児童発達支援

「利用する予定はない」の割合が31.3%と最も多く、次いで「利用したい」の割合が29.7%、「サービスを知らない」の割合が18.8%となっています。



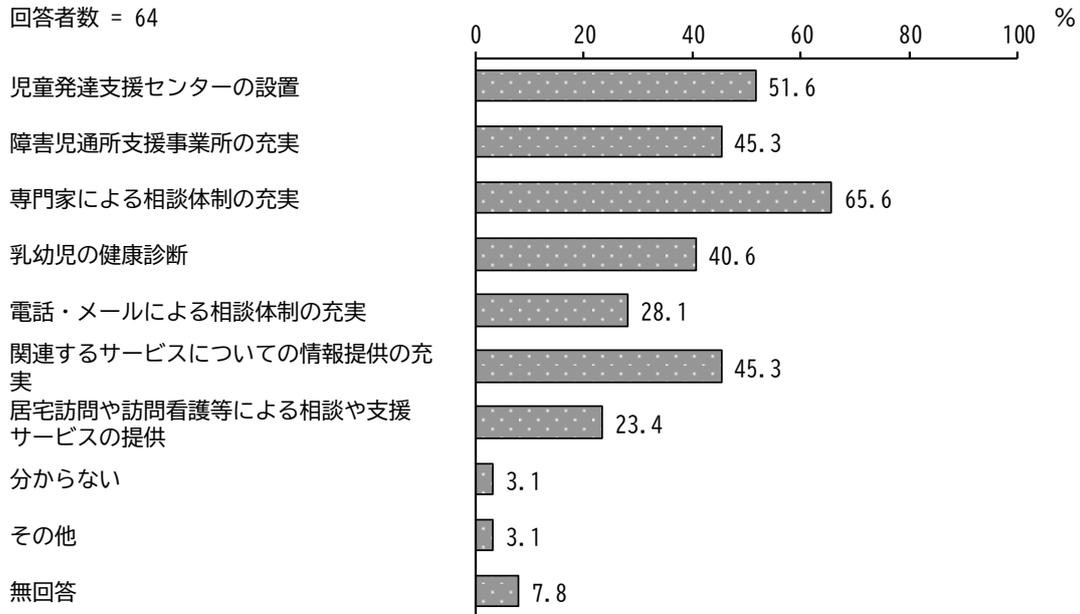
### ② 放課後等デイサービス

「利用したい」の割合が51.6%と最も多く、次いで「利用する予定はない」の割合が28.1%となっています。



問 発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思えますか。 [いくつでも○]

「専門家による相談体制の充実」の割合が 65.6%と最も多く、次いで「児童発達支援センターの設置」の割合が 51.6%、「障害児通所支援事業所の充実」、「関連するサービスについての情報提供の充実」の割合が 45.3%となっています。



問 あなたや支援者が、子どものことでの悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。[いくつでも○]

「家族・親族」の割合が 73.4%と最も多く、次いで「医師・看護師」の割合が 43.8%、「友人・知人」の割合が 29.7%となっています。

